

2021年10月 4日
京成電鉄株式会社

千葉県の子どもたちの学習支援のために さわやかちば県民プラザ主催「ちば子ども大学」で 講座「鉄道の担う役割と裏側」を開講しました 実施日:2021年10月2日(土)

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、事前応募で受け付けた千葉県内の小学生を対象に、講座「鉄道の担う役割と裏側」を京成電鉄 宗吾車両基地にて開講しました。

当講座は、さわやかちば県民プラザ(千葉県柏市)の主催する「ちば子ども大学【参考】」の協力機関として実施するもので、日頃目にしている鉄道の役割や、その運行のために必要な人・仕事について、講義や見学を通じて学べる講座としました。

京成電鉄では、2019年度よりスタートした中期経営計画「E4プラン」の基本戦略の1つとして「地域との共生による京成グループのプレゼンス強化」を掲げており、沿線自治体等と連携し、沿線地域の持続的発展に資する、様々な地域貢献活動を行っています。その一環として、当社の事業エリアである千葉県内の子どもたちを対象に鉄道に関する「学び」を提供しました。

京成電鉄では、今後も学習活動への支援等を通じ、地域社会へ貢献してまいります。

当件の概要は、次項の通りです。



講義を受ける参加者の様子



車両基地見学の様子

講座「鉄道の担う役割と裏側」について

1. 名 称 「鉄道の担う役割と裏側」 ※「ちば子ども大学」の協力機関として実施
2. 主 催 さわやかちば県民プラザ
3. 協 力 京成電鉄株式会社
4. 実施日時 2021年10月2日(土) 13時00分～16時00分
5. 場 所 京成電鉄 宗吾車両基地
6. 参加者 千葉県内の小学4年生～6年生の児童とその保護者 9組18名
7. 参加費 無 料
8. 内 容 (1)スカイライナー(AE形)車内での鉄道の業務や成り立ちに関する講義
(2)スカイライナー車両に乗車しての洗車機通過体験
(3)京成電鉄 宗吾車両基地内の見学
(4)車両基地内の保存車両との撮影体験
(5)AE形車内でのアナウンス体験

以 上

【参考】「ちば子ども大学」について

さわやかちば県民プラザが主催し、大学・研究所・企業・関係機関等を協力機関として、その道のプロフェッショナルから現場の空気感の中で学べる講座です。

千葉県内の小中学生を対象に、「体験をとおして新たな価値を学ぶ」「世の中のふしぎについて学ぶ」「ふるさと千葉県について学ぶ」の3つのコンセプトに沿った講座を設定し、それぞれ専門家を講師とした講義やワークショップを行います。

詳細は、さわやかちば県民プラザのホームページをご確認ください。

URL：<https://www.skplaza.pref.chiba.lg.jp/kodomodaigaku/>